

# 附属竹早中学校

## 1. 竹早中学校の概要



### 【沿革】

本校の前身は、1948年に創設の「東京第一師範学校女子部附属中学校」と「東京第二師範学校女子部中学校」である。1954年に両校を廃止し、東京学芸大学附属「新設」中学校を設置、1957年に今の学校名に改称に改称し、現在に至る。

【教育理念】「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒」ならびに「他人の立場や意志を尊重できる、視野の広い生徒」の育成を柱とする。前者は「主体性」、後者は「多様性」を育む教育として実践している。

【主な行事】◇校外学習（5月）：2泊3日の旅程で、1年生は長野県の菅平、2年生は長野県の白馬村、3年生（修学旅行）は

奈良・京都で学ぶ。◇運動会（9月）：生徒主体の行事として運動会準備委員会が運営する。学年の縦割りで赤、青、黄、緑の4色対抗で競いあう。◇文化研究発表会（11月）：生徒個人が夏休み中に取り組んだ自由研究・卒業研究の成果を発表する。



A 組団旗係



B 組団旗係



C 組団旗係



D 組団旗係

## 2. 竹早地区幼小中連携教育研究

竹早地区幼小中連携教育研究第9期研究に取り組んでいる。昨年度までの第8期研究を継続し、東京学芸大学主導の産官学連携プロジェクト「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」の一環として、未来を切り拓く子どもの主体性が活きる学びの実現のための実践研究を行っている。本プロジェクトの目的は、学校、企業、教育委員会等が連携し、共通のプロジェクト・ビジョン「好きに、挑む」を実現する未来の学校モデルを開発することである。

2024年度の研究成果は、2025年1月25日（土）に對面で開催した幼小中合同公開研究会にて発表した。「子どもたちの主体性を支える手立て」に着目し、教科・領域の目標に基づく教育実践を生徒の深い学びに結実させていく営みを公開し、さらなる発展への道筋について来場者とともに協議した。公開研究会には教育関係者だけでなくプロジェクトに参画している企業関係者も参加し、様々な立場からみた学校について議論が交わされ、大変有意義な研究大会となった。



### 竹早中の教育実践 **好きに、挑む。**

未来の学校  
みんなで創ろう。  
PROJECT



産官学で学校システムを変革する「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」

### 3. 竹早中学校独自の研究：「多様性の教育」の研究



2018年度から取り組んできた「多様性の教育」の研究を深化拡充させるために、生徒自らの発案に基づく活動（通称「Dプロジェクト」）による教育実践を推進すると同時に、その実践においてどのような学びが実現するのか、また活動を推進するにはどのような学校環境が必要なのかを検討した。この活動の理念を象徴するのが、「三つのD」である。

- Dream**（主に積極性、主体性、興味関心に関わる概念）
- Decide**（主に主体性、思考・判断・表現に関わる概念）
- Develop**（発展性、成長、学びに関わる概念）

「三つのD」のうち、「Dream」は学習の動機付けの役割を担い、教育活動を推し進める原動力となるものであり、本プロジェクトに特に欠かせない要素である。「Dream」の理念のもと、Dプロジェクト学習においては、「子どもも教師も、誰もがワクワクできる学び」を具体化するような教育実践を、9教科11領域それぞれの授業実践に加えて実施しており、本校の総合学習や課外活動における教育実践の特徴を際立たせるものである。また、Dプロジェクトにおいては、生徒の想いに基づく活動を核とする教育を実践すると同時に、その実践を通してどのような学びが実現するのか、また活動を推進するにはどのような学校環境が必要であるのかを検討していく。個人の想いや願いを実現しようとする場を設定し、周囲と協働して活動することを通して自分の思いや願いに挑戦する経験を生徒に与え、主体性の育成と多様性を価値とするような意識の醸成をねらいとしたプロジェクトである。

2024年度は、3つのプロジェクトを年間を通して継続させ、さらに新たな試みとして、外部との接点を持つことによる中学生の行動変容を検証した。中間発表会の会場「3×3Lab Future」では、Dプロジェクトの「米粉」「広報」「鉄道」プロジェクトのメンバーが、親や教員以外の大人に対して自分たちの活動内容や考え・想いを伝え、それに対するフィードバックを得る体験を初めて経験した。この活動を通して様々な知識を獲得するだけでなく、問題発見・提起能力、問題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等の資質も養われていくことを期待している。すなわち、この活動は単なる調べ学習に終わるものではなく、その成果を広く社会に貢献することもねらいとしており、次年度も新たなプロジェクトを立ち上げ、実践を重ねる計画である。

#### 竹早中の教育実践

科学で魔法実験P



米粉と絵本制作プロジェクト



エコ素材で紙をつくるP



三菱地所 3 × 3 Lab 中間発表



荒川ゴミ拾いの下見に関する報告

